

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月8日

上場会社名 味の素株式会社

（コード番号：2802 東大名福札）

（URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>）

代表者役職名 取締役社長 氏名 江頭 邦雄

問合せ先責任者役職名 執行役員財務部長 氏名 吉岡 雅典 TEL：(03) 5250 - 8161

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における  
認識の方法との相違の有無 : 有

1. 法人税等の計上方法：見積実効税率を適用
2. 貸倒引当金の計上方法：一部簡便法を適用

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況

連結（新規）6社（除外）3社 持分法（新規）1社（除外）1社

## 2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	254,155	13,211	14,711	6,046
（参考）15年3月期	987,727	54,059	56,888	33,178

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後1株当 り四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	9.32	-
（参考）15年3月期	50.73	-

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	887,486	400,523	45.1	617.49
（参考）15年3月期	864,588	391,154	45.2	602.66

## 3. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 96社 持分法適用非連結子会社数 4社 持分法適用関連会社数 21社

## 4. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	527,000	25,000	10,000
通期	1,050,000	67,000	35,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 53円60銭

経営成績等の定性的情報については、2及び3ページの第1四半期連結業績の概要をご参照ください。

## 1. 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報

当第1四半期の連結売上高は2,541億円、連結営業利益および連結経常利益は、各々132億円、147億円、連結当期純利益は60億円となりました。

なお、平成16年3月期の業績予想に関しましては、平成15年5月14日に発表いたしました中間期および通期の業績予想に変更はありません。

### 国内食品事業

国内食品業界を取巻く環境は、長引く個人消費の低迷を背景に厳しい状況が続いております。このような状況のなか、当第1四半期におきましては、期初より広告費、販売手数料等のマーケティング費用の積極的投入を行いました。

調味料につきましては、年度後半に最需要期を迎える下半期傾斜型の商品であり、幾つかの商品群でやや低進捗の立ち上がりとなりました。「味の素」については、全国的に中華フェアへの取り込みを、「ほんだし」では炒め用途訴求等の需要創造取り組みに着手し、成果が現われてきています。

加工食品につきましては、「クノール ス - プパスタ」を中心とする新領域(スナックス - プ領域)が順調に売上げを伸ばしました。また、マヨネ - ズ類は、市場伸張著しい健康価値領域において「ピュアセレクト ハ - フ」の売上げ拡大に努めております。また、昨年8月に発売した「味の素kk アジアめん」は着実に市場に浸透しています。

甘味料・栄養食品につきましては、家庭用・外食市場向けのアミノ酸系甘味料は、「パルスイ - ト」カロリー - ゼロ、「スリムアップシュガ - 」等が好調に推移し、増収となりました。アミノ酸サプリメント「アミノバイタル」は、ゼリ - ドリンクがドラッグストア、コンビニエンスストアに加え量販店で導入されたこと等により大きく伸張しました。

冷凍食品につきましては、家庭用はギョ - ザ類、鶏肉商品が好調に推移しています。業務用は、市場の冷込みの影響を受けていますが、本年4月1日に株式会社フレックを味の素冷凍食品株式会社に合併し、その統合効果を早期に発揮すべく取り組みを進めております。

食用油は前年並みの売上げを確保しました。特定保健用食品「健康サララ」は引き続き順調に推移し、コレステロ - ル低下機能市場での大きな位置づけを確保しております。

コ - ヒ - 類につきましては、液体コ - ヒ - は昨年に引き続き拡大傾向にあり、インスタントコ - ヒ - は袋物商品の定着化、レギュラ - コ - ヒ - もドリップコ - ヒ - 市場の伸張や各種キャンペーン等の販売促進活動により、前年実績を上回りました。

飲料につきましては、新製品の「アミノカルピス」や特定保健用食品「健茶王」が順調に売上げを伸ばしています。

チルド乳製品につきましては、主力の「ダノンヨ - グルト」、「ダノン フル - ツセレクション」、「ダノンピオ」が順調に売上げを伸ばしました。

以上の結果として、国内食品事業の売上高は1,468億円、営業利益は23億円となりました。

### 海外食品事業

海外食品事業の売上高は、357億円、営業利益は、16億円となりました。

調味料につきましては、家庭用・外食市場向け「味の素」は、アジア地域の売上げが堅調に推移した他、アフリカでの販売が好調で全体の底上げに貢献しました。風味・混合調味料は、各地域で売上げを大幅に増加しております。食品加工業向け「味の素」につきましては、一部海外においては為替の影響等による減収要因がある一方、北米、欧州、国内での販売が堅調に推移したことにより、前年を上回る売上げを確保しました。核酸の売上げは、前年を下回りました。

加工食品では、タイの缶コ - ヒ - 「Birdy」が発売10周年キャンペーンも奏功して順調に伸張しました。

### アミノ酸事業

アミノ酸事業の売上高は371億円、営業利益は45億円となりました。

飼料用アミノ酸につきましては、各地域とも順調に推移し、数量、売上げで前年を大きく上回りました。

医薬・食品用アミノ酸につきましては、国内での食品用途向け販売が好調で、海外につきましても堅調に

推移し、予定通りの進捗となりました。

甘味料につきましては、販売価格の下落により減収となりましたが、数量ベースでは順調に推移しております。

化成品につきましては、アミノ酸化化粧品「ジ - ノ」が積極的な販売促進活動を行い、引き続き大幅に売上げを伸ばしました。

#### 医薬事業

医薬事業の売上高は194億円、営業利益は36億円となりました。

昨年12月に買収した清水製薬株式会社の売上げと、昨年5月に発売した骨粗鬆症治療剤「アクトネル」等が貢献し、全体として増収になりました。また、味の素株式会社、味の素ファルマ株式会社、清水製薬株式会社の3社を一つの会社と見立てた新体制(Virtual Company:バ - チャル カンパニ - )が7月1日にスタートしました。3社シナジ - 効果の早期創出に向け、新体制で3社の各機能の一元化および簡素化を進め医薬事業全体の効率的な運営を目指します。

#### その他

その他の事業の売上高は150億円、営業利益は6億円となりました。

## 2. 第1四半期末日以降に発生した事項

当社は、うま味調味料グルタミン酸ナトリウム(MSG)の生産・販売会社であるオルサン株式会社(本社:フランス)の全株式を保有するため、平成14年11月21日にアミラムフランス株式会社(本社:フランス)と株式取得に関する契約を締結しました。今般関係独禁当局の認可などの条件を満たし、平成15年7月31日全株式取得に至りました。

## 3. 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報

総資産は、主に現金及び預金、たな卸資産等流動資産が増加した結果、前連結会計年度末に比べ228億円増加し、8,874億円となりました。株主資本につきましては、前連結会計年度末に対して93億円増加し、この結果、株主資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から45.1%となりました。なお、平成15年6月10日に、当社は国内普通社債500億円(券面総額)を発行いたしました。

## 4. 業績予想の利用に関する注記事項

記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値とは異なる結果となる可能性があります。

## 連 結 貸 借 対 照 表

(百万円未満切捨て)

科 目	期 別	平成16年3月期第1四半期 (平成15年6月30日現在)		平成15年3月期 (平成15年3月31日現在)	
		金 額	構成比	金 額	構成比
<b>( 資 産 の 部 )</b>			%		%
<b>流 動 資 産</b>		382,607	43.1	364,936	42.2
現金及び預金		65,937		55,035	
受取手形及び売掛金		178,430		180,384	
有価証券		1,607		687	
たな卸資産		103,695		98,754	
繰延税金資産		11,258		11,405	
その他		22,426		19,409	
貸倒引当金		748		740	
<b>固 定 資 産</b>		504,879	56.9	499,652	57.8
1.有形固定資産		301,598	34.0	296,579	34.3
建物及び構築物		233,934		229,474	
機械装置及び車両運搬具		394,069		381,562	
その他		44,634		43,134	
減価償却累計額		461,153		449,886	
土地		70,770		69,119	
建設仮勘定		19,342		23,175	
2.無形固定資産		50,836	5.7	51,892	6.0
連結調整勘定		33,962		35,000	
その他無形固定資産		16,873		16,891	
3.投資その他の資産		152,444	17.2	151,180	17.5
投資有価証券		109,679		106,508	
長期貸付金		256		242	
繰延税金資産		33,830		34,940	
その他		10,493		11,301	
貸倒引当金		1,815		1,812	
<b>資 産 合 計</b>		887,486	100.0	864,588	100.0

(百万円未満切捨て)

科 目	平成16年3月期第1四半期 (平成15年6月30日現在)		平成15年3月期 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
<b>( 負 債 の 部 )</b>		%		%
<b>流 動 負 債</b>	269,327	30.3	305,737	35.4
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	120,437		116,952	
短 期 借 入 金	59,959		66,118	
コ マ ー シ ャ ル ペ ー パ ー	-		11,000	
1 年 以 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	5,685		6,577	
1 年 以 内 償 還 予 定 社 債	15,000		15,000	
未 払 法 人 税 等	7,788		19,706	
賞 与 引 当 金	4,222		3,313	
そ の 他	56,234		67,068	
<b>固 定 負 債</b>	194,880	22.0	144,577	16.7
社 債	95,000		45,000	
長 期 借 入 金	7,686		7,393	
繰 延 税 金 負 債	2,822		2,724	
退 職 給 付 引 当 金	68,621		68,560	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,254		1,769	
そ の 他	19,495		19,129	
<b>負 債 合 計</b>	464,208	52.3	450,315	52.1
<b>( 少 数 株 主 持 分 )</b>				
少 数 株 主 持 分	22,754	2.6	23,118	2.7
<b>( 資 本 の 部 )</b>				
<b>資 本 金</b>	79,863	9.0	79,863	9.2
<b>資 本 剰 余 金</b>	111,579	12.6	111,579	12.9
<b>利 益 剰 余 金</b>	252,552	28.5	250,973	29.0
<b>そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金</b>	4,078	0.4	1,727	0.2
<b>為 替 換 算 調 整 勘 定</b>	45,876	5.2	51,349	5.9
<b>自 己 株 式</b>	1,674	0.2	1,639	0.2
<b>資 本 合 計</b>	400,523	45.1	391,154	45.2
<b>合 計</b>	887,486	100.0	864,588	100.0

## 連 結 損 益 計 算 書

(百万円未満切捨て)

期 別 科 目	平成16年3月期第1四半期		平成15年3月期	
	自平成15年4月1日 至平成15年6月30日		自平成14年4月1日 至平成15年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
<b>売 上 高</b>	254,155	100.0	987,727	100.0
<b>売 上 原 価</b>	184,151	72.5	716,999	72.6
売 上 総 利 益	70,003	27.5	270,727	27.4
<b>販 売 費 及 び 一 般 管 理 費</b>	56,792	22.3	216,668	21.9
営 業 利 益	13,211	5.2	54,059	5.5
<b>営 業 外 収 益</b>	3,383	1.3	13,010	1.3
受 取 利 息	201		966	
受 取 配 当 金	365		954	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,213		6,549	
そ の 他	1,603		4,539	
<b>営 業 外 費 用</b>	1,883	0.7	10,180	1.0
支 払 利 息	830		3,377	
そ の 他	1,052		6,803	
経 常 利 益	14,711	5.8	56,888	5.8
<b>特 別 利 益</b>	736	0.3	28,611	2.8
固 定 資 産 売 却 益	374		2,423	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-		4,817	
関 係 会 社 株 式 売 却 益	-		20,286	
そ の 他	361		1,083	
<b>特 別 損 失</b>	2,116	0.8	20,033	2.0
固 定 資 産 除 却 損	804		2,929	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	8		4,204	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	-		237	
課 徴 金	-		1,977	
和 解 金	599		6,894	
そ の 他	704		3,791	
税 引 前 当 期 純 利 益	13,331	5.3	65,466	6.6
法 人 税 等	6,374	2.5	-	
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	-		33,834	3.4
法 人 税 等 調 整 額	-		4,685	0.5
少 数 株 主 損 益	910	0.4	3,138	0.3
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	6,046	2.4	33,178	3.4

## 事業の種類別セグメント情報

平成16年3月期第1四半期（自平成15年4月1日 至平成15年6月30日）

（百万円未満切捨て）

科目	セグメント	自平成15年4月1日 至平成15年6月30日							
		国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益									
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高		146,817	35,783	37,116	19,411	15,026	254,155	-	254,155
(2)セグメント間の 内部売上高		628	2,912	4,757	8	11,971	20,278	(20,278)	-
計		147,445	38,695	41,874	19,419	26,998	274,433	(20,278)	254,155
営業費用		145,063	36,997	37,305	15,812	26,382	261,561	(20,617)	240,943
営業利益		2,382	1,698	4,569	3,606	616	12,872	338	13,211

（注）1．事業区分は、社内カンパニー制における事業運営体制に基づいております。

（注）2．各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
国内食品	「味の素」、「ほんだし」、「 <sup>クックドゥ</sup> Cook Do」、スープ、マヨネーズ、「パルスイート」（国内分）、「アミノバイタル」、「味液」、冷凍食品、コーヒー、国内飲料、乳製品、国内食品流通等
海外食品	「味の素」類、核酸類、海外即席麺、海外飲料、海外サービス他
アミノ酸	各種アミノ酸、アスパルテーム、化成品等
医薬	医薬品、医療食品
その他	物流、各種サービス他

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（百万円未満切捨て）

科目	セグメント	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日							
		国内食品	海外食品	アミノ酸	医薬	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益									
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高		583,243	139,236	135,933	62,693	66,621	987,727	-	987,727
(2)セグメント間の 内部売上高		2,735	12,749	22,267	7	60,336	98,096	(98,096)	-
計		585,979	151,985	158,200	62,700	126,957	1,085,823	(98,096)	987,727
営業費用		559,173	142,735	144,641	53,817	123,108	1,023,476	(89,808)	933,667
営業利益		26,805	9,250	13,558	8,883	3,849	62,346	(8,287)	54,059

（注）事業区分及び各事業区分の主要製品は、平成16年3月期第1四半期と前連結会計年度の間に変更はありません。